

H31 年度 入学式式辞

桜の花が咲き始めた今日の佳き日、ご来賓ならびに多数の保護者のみなさまをお迎えして、ここに平成 31 年度の入学式を挙行できますことは、本校教職員ならびに在校生一同の大きな喜びであり、ご臨席のみなさま方に対し、心から御礼申し上げます。

ただいま、168名の本科入学生、総合高校からの編入生1名、カンボジアとモンゴルからの留学生2名、ならびに専攻科に進学する35名、以上206名の入学を許可いたしました。

新しく入学あるいは進学されたみなさん、ご入学、おめでとうございます。呉高専は、みなさんを心から歓迎いたします。晴れの門出を前に、新しい生活に少し不安を抱きながらも、今日の日が待ち遠しかった人も多いのではないかと思います。

保護者の皆様方も義務教育の中学を卒業し、これからさらに成長して行くお子さん達を、期待をもって見ておられることと思います。改めて、お子様達のご入学、おめでとうございます。

また、新入学生のお祝いにお忙しい中、駆けつけていただきました、ご来賓の皆様方にも、厚くお礼申し上げます。

まず、私から自己紹介をさせていただきます。今年度から、前任の森野校長先生と交代で新しく校長を拝命しました。篠崎です。今まで大学教員をしており、私も皆さん方と同じ新人さんです。ですので、これから皆さんが卒業するまで、一緒に生活し、一緒にいろいろな事を経験して行きたいと思っています。

これから踏み出そうとする未知の世界へ大きな期待をもっておられるみなさんに、少し考えていただきたいと思います。

高専への入学は、推薦入試の方、一般入試の方々がおられますが、皆さん、十分、高専のことを勉強して、受験を決意されたのだと思います。ご承知のことと思いますが、高専では、これから 5 年間あるいは 7 年間勉強します。普通科高校や工業高校と異なるのは、大学受験がないことです。もちろん、大学への編入をされる学生もおりますが、基本、5 年あるいは 7 年間、みっちり工学基礎教育および専門教育を受ける事になります。また、指導する先生方約 60 名は、ほとんど博士号をもたれた、優秀な研究者であり教員です。長年、大学工学部で学生指導していた経験からすれば、高専教育はある意味、工学系の教育としては理想的な教育体系だと思っています。それでは、呉高専で、いかなる事を学ぶのか？ということになります。

資源のない我が国では、他ではできないモノをつくり、それを海外に売り、利益を生まなければ世界第 3 位の GDP を維持できません。それには、世界に先駆けた革新的なものづくり技術の開発は必須です。このものづくり現場では、AI、IoT を取り入れ、大きく変革しています。これらに対応できる、優秀な技術者の必要性が国を挙げて叫ばれています。長らく高専は、ものづくり日本の屋台骨を支えてきました。

当校は、2014 年に創立 50 周年を迎え、今後のみなさんを世界レベルの高度なものづくり中核技術者に育てるため、「地域発・インキュベート型教育」を推進することを目標としました。この達成のため、まず、本科の全学生が自由なテーマに取り組む「インキュベーションワーク」を推進し、さらに専攻科を改組し、複合的な課題を地域から見出し、企画・設計・製作まで一連のプロジェクトを具現化することにより、本

科の学生をさらに本格的に成長させる教育体制を整えました。これに伴う教育改革の成果は、着実に上がってきています。

当校は、じつに恵まれた環境にあります。3年前中核都市に移行した呉市は、太平洋戦争当時、世界最大の戦艦大和を製造した海軍工廠をもった特別な町です。大和を作った造船技術は、設計、製造技術、品質管理、制御技術など、まさに当時の最高のものづくり技術でした。気候は温暖、アクセスもよし、キャンパスは広々としており、設備も最新。そしてなにより、大きな夢をもつてきな仲間が各地から集まっています。本日、入学を許可されたみなさん方は、これらすべてを手に入れたのです。このような申し分ない環境のなかで、みなさんには己の可能性を信じ、頭を体を心を存分に鍛え、己を磨いていただきたい。そして、みなさんの未来をこのキャンパスで育み、夢の実現に邁進していただきたい。そのためには、「しっかり目標を立て、夢中でものごとに取り組むことを学んでほしい」と思います。

みなさんには学業、研究、クラブ活動、何でもいい。夢中になれるものを見つけ、懸命に取り組んでいただきたい。幸い高専には、ロボコンをはじめ、高専だからこそできるさまざまなコンテストや、夢を実現する多くのイベントがあります。また、人口が減少し続けている呉市の活性化のため、皆さん方の力を発揮できる機会を積極的に活用し、果敢に挑戦していただきたいと思います。

私は未経験ですが、高専では、色々楽しい催しがあるようです。

また、寮生活をする学生もいます。同年代の仲間と同じ釜の飯を食べるのは、本当に楽しく、良い思い出になります。私のような年齢になると、高等学校、大学の同級生の同窓会が頻繁にあります。昔話に華をさかせながら楽しく一杯飲むのを良いものです。本校には、陰湿ないじめや誹謗中傷などが無いと聞いています。是非、楽しい高専生活を送ってほしいと思います。

Realize Your Dream。「君の未来を共に創る」。本校が掲げているキャッチフレーズです。この呉高専に入学されたみなさんは我々の宝です。宝物であるみなさん方の夢の実現に向け、私をはじめ、本校の教職員は皆気持ちを新たに、みなさんのもつ可能性が最大限に発揮されるよう全力でサポートすることをお約束して、式辞といたします。

保護者の皆様方には、安心して、お子さん達を当校に預けて頂けるよう、教育面、生活面など教職員一同、誠意をもってサポートしてゆく所存です。ただし、学校だけで教育はできません。ご家庭での教育も重要だと思っていますので、是非、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

平成31年4月3日
呉工業高等専門学校長
篠崎賢二